

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：急性出血性直腸潰瘍の再出血に関わるリスク因子の検討

1. 研究対象者および研究対象期間

2017年3月1日から2022年5月31日に岐阜県総合医療センターで血便に対して緊急内視鏡検査を施行し、急性出血性直腸潰瘍と診断された患者様。

2. 研究目的・方法

急性出血性直腸潰瘍は心不全、脳血管疾患、骨折などの基礎疾患を有し活動性の低下した高齢者に好発する下部直腸に局限した潰瘍性病変で、1980年に初めて報告され以後、報告例が増加している。突然生じる無痛性の血便を契機に発見されることが多いとされ、ときに出血性ショックをきたし重篤な状態に至る可能性も有する疾患である。内視鏡を用いて一次止血が可能な事が多い疾患であるが、一次止血後に再出血する症例をしばしば経験する。既報ではステロイドや抗血栓薬の内服、Performance Status 低下などが再出血のリスクとして挙げられているが、再出血のリスクに関わる検討の報告は少なく、確立されたリスクはない。今回、当院で経験した急性出血性直腸潰瘍において一次止血後の再出血群と非再出血群で比較検討し、再出血のリスクとなる患者背景を明らかにすることを目的とした。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、PS、併存疾患、抗血栓薬・ステロイドの内服、骨格筋量、内視鏡的止血処置の有無

主要評価項目：急性出血性直腸潰瘍の再出血に関わる患者背景

副次評価項目：内視鏡的処置の有無による再出血率の差異、再出血群の急性期予後

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 消化器内科 谷口 裕紀

電話番号:058-246-1111